



佐々木市長

# ことしの市行政のあらまし

—(市長施政方針より)—

最近の産業のめざましい発展によつて、社会の仕組みも変つてまいり、そのために人口の移動は著しいものがあります。

農村から都市へ、ここ十年ほどで人口配置は全く逆転したばかりでなく、所得の面でも、社会資本の面でも、年々都市と農村、中央と地方の格差が大きくなつています。

## 世界の中の五所川原

# 五所川原市広報 市政ニュース

昭和43年4月25日発行 第187号  
毎月5.15.25日発行 一部2円  
発行所 五所川原市役所

## 人口のうごき

総人口	52,421
男	25,416
女	27,005
世帯数	13,009

(住民登録による 昭43・3・1現在)

こうした中で、人口五万前後の町で人口の伸びた例は少なく、多くは減少の傾向にあります。しかし、当市の場合、こうした傾向とは逆に、ここ二年間の動きでは、人口が増加しはじめ県内では八戸市について、伸び率が、高くなつています。

この原因としては、拠点開発による松島団地の造成と、公の投資による道路改良が進められて、西北津軽の中心的役割を果す基礎が強化され、第二次、第三次の産業が、充実される見通しがでてきたことによるものであると考えます。

このような発展の底にある思想は、水を治めて新田を切りひらき、地の利を活用して商ないを起し、幾度かの災禍に耐えぬいて、常に地域の産業、経済、文教の主導をつとめてきた、たくましい開拓精神と五所川原根性であることを忘れてはならないと思ひます。

つまり、青森、弘前との間隔をたもちながら、西北津軽の中心都市として発展する段階に入つたと考えるべきであります。

ことしは、明治百年、わが国が近代国家を形づくつ

てから、ちようど一世紀を経過した意義深い年でありますので、当市の繁栄をもたらし契機にしたいものであると考えます。そのためには、視野を世界に広げてより以上の振興をくむべきであります。

当市には、年産百万箱のりんごがあり、化学工業の進出もあつて、輸出実績を今以上に伸ばす可能性は十分にあります。

しかし、きびしい国際経済の変動の中で、振興をはかることは容易なことではないと考えますが、今後、積極的に貿易の振興にも目をむけて、地域経済の充実策を進めてゆくつもりであります。これがためには当市と同じ悩みをもつ町が世界の先進国にも数多くあると思ひますので、これらの町と友好を交換しあい、認識を「世界の中の五所川原」において、日本人としての誇りと喜びをかみしめ市民の皆様とともに繁栄への道を切りひらいてゆきたいと考えます。

## 発展のための要案

一、これまで以上に行政文教と情報活動の充実をはかるとともに、農産加工などの開発を考え、都市計画も生産、流通、教育に加えて観光をも一体化した道路計画の実行を急ぎたいと考えています。

二、近代化を阻害している市街地内の用水堰の統廃合を津軽地域総会開発計画における灌漑排水事業と農業の近代化とあわせて下水道施設を考えあわせながら進めるつもりであります。

三、さきの用途地域、準防火地域の指定により土地の合理的利用と不燃都市の建設をはかつてきました

なお不慮の災害を考えて、防火緑地帯を配する方策を進めています。

## 明治百年記念事業

ここ百年の歴史をふりかえつてみると、先覚者の偉業がなお生きていることが感じられます。

この恩恵に感謝し、さらに大にするため、今年を初年度として、つぎの構想実現に着手したいと考えています。

### ①行政サービスセンター

市民の利便を第一に考えて各行政機関など公共の場を集結し、行政サービスの基礎づくりを推進しようとするものであります。

### ②青少年開発センター

農商工一体の繁栄を図るための青少年養成機関で、郷土を科学する後継者づくりを推進するものであります

### ③スポーツセンター

学校給食センターも近く完成少年用グラウンド三道会館(柔、剣、弓)も形が整うのでこれらを総合的に活用して市民の健康づくりを推進しようとするものであります

### ④未来の都市づくり

駅裏一体が自然発生的に無秩序な形で宅地化されているので、再開発の面から区画整理を進め、理想的な円形の街をつくりあげたい。また、都市核を中心に環状線、放射線状に新長期道路計画を進めてゆくつもりであります。



4年度の子算きまる



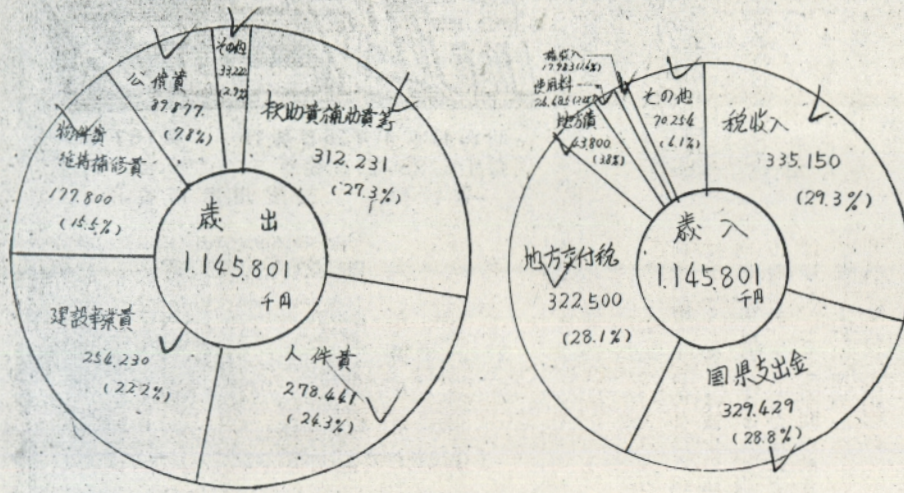
征森 議長

三月定例市議会は、さる三月十六日から二十九日までの十四日間開かれ、昭和四十三年度予算など四十七議案を審議、いずれも原案どおり可決し閉会しました。この議会で、きまつた主な議案は、つぎのとおりです。

- △昭和四十二年一般会計補正予算。
- △昭和四十二年水道事業会計補正予算。
- △昭和四十二年市立西北中央病院事業会計補正予算。
- △昭和四十三年一般会計予算。

- △昭和四十三年度水道事業会計予算。
  - △昭和四十三年度市立中央病院事業会計予算。
  - △五所川原市文化財保護条例。
  - △五所川原市松島会館条例。
  - △固定資産評価審査委員会の委員の選任。
  - △教育委員会委員の任命。
  - △監査委員の選任。
  - △収入役の選任。
  - △その他、条例の一部を改正する条例。
- 昭和四十三年度一般会計予算の概要は、前年度に比べて一億三千二百五十三万三千円多い、十一億四千五百八十八万一千円となりました。予算編成にあたっては、財政再建完了の初年度でありますので、健全財政を保ちながら、行政水準の引き上げと市民福祉の向上を基調としています。

一般会計



主な建設事業

公営住宅建設事業費	2,551万円	農業構造改善事業費	4,057万円
児童館建設事業費	426万円	公園整備事業費	1,086万円
防火水槽建設事業費	270万円	五一中屋体建設事業費	5,720万円
南小校舎増築費	731万円	農道改良事業費	400万円
市道新設改良事業費	1,672万円	給食センター建設事業費	1,828万円
保健体育施設事業費	489万円	災害復旧事業費	446万円
失業対策事業費	1,204万円	その他	4,543万円
合計	25,423万円		

科目別予算状況

□ 歳入		単位千円	□ 歳出		単位千円	
市	税	335,150	議	会	費	20,530
地	方	322,500	総	務	費	150,392
分	担	62,436	民	生	費	294,316
使	用	31,461	衛	生	費	40,121
国	庫	258,457	勞	働	費	11,632
県	支	70,972	農	林	費	85,899
財	産	3,040	商	工	費	18,937
諸	取	17,985	土	木	費	113,601
市	債	43,800	消	防	費	56,230
			教	育	費	254,636
			災	害	費	4,488
			復	旧	費	89,977
			債		費	1,410
			公	支	金	3,632
			諸	出		
			予	備	費	
合	計	1,145,801	合	計	1,145,801	



### 適材を適所に配する 異動が行なわれました

四月一日付で  
総教九十名以上  
の人事異動  
が発令され、  
八日、議場で  
辞令交付が行  
なわれました  
今回の異動は  
「世界の中の  
五所川原」と  
しての発展と  
明治百年記念  
事業実施の足  
場をつくるた  
めのもので、  
その活躍が期  
待されています。

人事課長 (人事課補佐) 平山 浩

市民課長 (教委社教課長) 山田 秀雄

建設課長 (専門検査員) 鈴木 庄一郎

都市計画課長 (会計課長) 今 実

水道課長 (建設課長心得) 寺田 有宏

会計課長心得 (市民相談室) 山田 芳裕

市民文化会館長 (市民課) 長尾 政五郎

団地管理事務所々長心得 (同次長) 藤田 藤太郎

### 特別職人事がきまりました



中谷収入役



原監査委員



小野教育委員

収入役の任期満了、空席の監査委員、教育委員、固定資産評価審査委員が三月二十九日開催中の定例市議会に上程され、万場一致で次のとおりきまりました。

収入役 中谷 兼太郎  
前人事課長 飯詰

監査委員 原 清司  
前監査委員 新宮町

教育委員 小野 雄蔵  
本 町

固定資産評価審査委員  
中村 善雄  
田 町

教委社会教育課長 (監査委員 兼 事務局室長) 沢田 誠三  
教委学校教育課長 (分理事務局長) 葛 西 稔  
監査委員会事務局局長 兼 公平委員会事務局長 (飯詰支所長) 安田 弥十郎  
兼 分院事務室長 (事務局長) 佐藤 正雄

### ことしも新入生に苗木を贈る

佐々木市長が三年前に発案した、恒例の小中新入生に贈る記念植樹は、四月九日午前十時より五所川原小学校で、また午前十時半よりは第一中学校で、佐々木市長、永井教育長等が出席して苗木の贈呈式が行なわれました。

ことしの新入生は全市で小学校千七十七名、中学校千四百九名で梅九五二本、桜三八〇本、それに準園花であるさつき八三四本の三年苗木を植えました。贈呈式に五小では三上聰



君が、また五一中では下山明君がそれぞれ元気に「記念樹に負けないように、しっかりと両足を大地にふんまえて、希望の宇宙に飛躍します」とあいさつしました。



### < 小児マヒ生ワクチン投与について >

今年も次の日程で生ワクを投与しますから、該当するお子さんには必ずのませてください。

#### 1. 該当するお子さん

- ① 昭和42年1月中に生まれたお子さん (一回投与)
- ② 昭和42年2月1日から12月31日までに生まれたお子さん (二回投与)
- ③ 昭和43年1月中に生まれたお子さん (一回投与)

#### 2. 日程

地区	第1回目	第2回目	投与場所	時刻
旧町	4月25日	5月9日	中央公民館	午後1時～3時
小曲	4月26日	5月10日	毘沙門出張所	午後1時～2時
沙門	〃	〃	栄支所	〃
柴	〃	〃	梅沢支所	〃
梅長	4月30日	5月13日	長橋診療所	午前10時～12時
三松	〃	〃	三好診療所	午後1時～2時
飯七	5月1日	5月14日	飯詰支所	午後1時～2時
中	〃	〃	七和支所	〃
全地区で吞まない者	5月2日	5月15日	中央公民館	午後1時～3時

- 3. 皆さんの都合のよい場所で受けても結構です。
- 4. 料金は1回につき40円です。ただし生活保護家庭、市民税の非課税は無料です。
- 5. 母子手帳に忘れずに必ず持参ください。



# 少年用グラウンドいよいよ着工



明治百年記念事業の第一弾として、市長構想の少年用グラウンドが、岩木川原につくられます。

陸上自衛隊第九師団、盛岡駐とん施設隊の協力で、十一日から作業が始められています。

それにさきだち、十日には現地で、関係者が集まり着工式が行なわれ、市側から、佐々木市長、笹森議長、永井教育長、増田体協会長、自衛隊側から、池田一佐副師団長、石橋二尉作業隊長、外隊員二十二名等が出席して、くわ入れが行なわれました。

その後、スポーツ少年団代表五十名が、作業隊に感謝と激励をかねて、花束とお菓子を献呈し、さつき町スポーツ少年団の福士成美さん、旭町同、木立和子さん、平和町スポーツ少年団の松橋正樹君が「夢にまでみたグラウンドができることはうれしい。体力をつくり、立派な人間になるよう私たちも頑張ります。」と元気にお話ししました。

このグラウンドは、青少年健全育成施設の一つとして建設されるもので、全部で十一面をつくり、完成後はスポーツ少年団、子ども会に開放されることになっていて、その健全育成も大いに推進されると、市民の期待も大きいものがあります。完成は四月一杯の予定です。

村より西は秋田県境の岩崎村大間越地区よりも出席して熱心に受講しました。

今回は特に若い受講者が多く十代が十六名も参加し注目されました。

○本市関係係修了者

- 水野尾 須藤やな (54)
- 水野尾 伊藤栄子 (34)
- 戸 沢 長内ツサ (48)
- 羽野木沢 阿部フサ (39)

## 行政相談

お受けします

市民の行政相談に応ずる行政相談員が皆様のお出で



を待つています。お気軽にご相談下さい。

- 毎月、二週目、金曜日
- 小島 トシ 委員
- 毎月、三週目、金曜日
- 坂本 甚作 委員

## 電話線の切りかえ工事について

市内の電話事情を改善するため、電話ケーブルの増設工事を進めています。これに併行して、既設電話を新しいケーブル線に切りかえる工事を行ないます。切りかえは、四月から六月までに終る予定で、故障の起らないよう細心の注意をはらいますので、ご協力をお願いします。

万一故障の場合は、一三番(試験係)にご連絡ください。

(五所川原電報電話局)

## お詫び

昭和四十三年、三月二十五日付、第一八六号の二面行政こん談会五所川原会場の写真を間違つて掲載しました。深くお詫びします。

## 学童を交通事故から守りましょう

市では、ことしも新しく入学したお子さんたちに、黄色い帽子をおくり、おそろしい交通事故から守ることにしました。

人の子も、わが子も同じように、守つてあげましょう。

◇道路を横切るときは手をあげる習慣をつけましょう。

◇子どもを見たら、自動車は徐行しましょう。

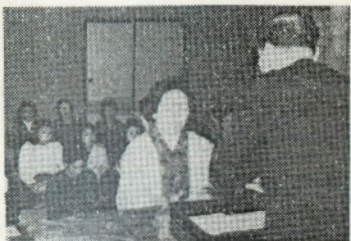
△良い子の歩行は

いつもここに

右側を

## 季節保育所従事者講習会終る

いよいよ農繁期を迎え、



本年度季節保育所従事者講習会は、四月十五、六、七日の三日間市内下平井町市福祉会館に西北五地区より三十三名出席して行なわれました。

講師には、つつけヶ丘児童館の長尾主任保母さん、ひまわり児童館の太田主任保母さんを迎え、北は市浦